

以下の記載は、表題の診療ガイドラインから漢方製剤に関する記述を抽出したものです。診療において漢方製剤を使用される場合には、必ず、ガイドライン全体をお読みになり、その位置づけを正しく理解された上で行ってください。

ガイドラインのバージョンは最新のもののみを掲載しています。改定がなされていないガイドラインは、そのまま掲載しています。このガイドラインとその中の漢方の記載を、診療の参考にすべきかどうかの判断は、使用者の責任で行ってください。

高齢者災害時医療ガイドライン 2011 試作版第 2 版

社団法人日本老年医学会 厚生労働省 長寿科学総合研究事業「災害時高齢者医療の初期対応と救急搬送基準に関するガイドライン」研究班（研究代表者：森本茂人 金沢医科大学高齢医学）
2011 年 8 月 17 日 第 2 版発行

■1 大黄、大建中湯、大黄甘草湯、麻子仁丸

疾患：

便秘

有効性に関する記載ないしその要約：

便秘の項の下剤の種類の中に、下記の記載がある。

『分類：刺激性下剤、作用：腸に直接作用して腸の運動活性を亢進させる、作用発現：8～10 時間、商品名：プルゼニド・アローゼン（センナ葉エキス）、大黄（大黄）、ラキソベロン（ピコスルファートナトリウム）』

『分類：その他、商品名：大建中湯』

分類：その他、作用時間：8～12 時間、商品名：大黄甘草湯（大黄）、麻子仁丸（麻子仁）』

■2 八味地黄丸

疾患：

尿失禁

有効性に関する記載ないしその要約：

尿失禁の項に、下記の記載がある。

『災害地でできる治療 内服治療：過活動性膀胱への薬物治療として（ポラキス、バップフォール、スピロベントなど）があるほか、八味地黄丸などの漢方薬も有用である。』

『備蓄として必要な医薬品・医療機器：尿道留置カテーテル、過活動性膀胱治療薬（ポラキス、バップフォー、八味地黄丸など）
可能ならば腹部超音波検査装置、検尿用試薬など。』

<以上 1~2 の記載として>

備考：

備蓄医薬品一覧の中に、「その他：総合感冒薬（PL 顆粒）、葛根湯など」の記載がある。